

一般質問通告書

平成29年6月定例会

1番 岩本信子 議員

1 市職員の人材育成について

- (1) 人材育成基本方針は見直しされたのか。
- (2) 人材育成の行動計画はどう考えるのか。
- (3) 職場の課題や目標についての公表はどうか。
- (4) 新たな人事評価制度ではどのような点が職員の成長のプラスとなるのか。
- (5) 職員の自己啓発への支援の取組はどうか。
- (6) 今までに職員からの業務や事務改善提案は何件あったのか。
- (7) 業務改善事例等は、全庁で情報共有されていくのか。

2 学校給食センターについて

- (1) 31年新学期から公会計にすると答えられているが、今も同じ考えか。
- (2) 給食センターの工事は着々と進んでいるが、センター長の人選も急ぐべきではないか。市長、教育長も代わり、誰が責任を持って学校給食運営をするのか。

2番 河野朋子 議員

1 市長の政治姿勢について

- (1) 企業経営の経験を行政運営にどのように生かすのか。
- (2) 職員のモチベーションを上げるため、どのような組織運営を考えているのか。
- (3) 「市民が主役のまちづくり」をどのように実現していくのか。

2 今後の財政見通しについて

- (1) 市長として財政についての現状認識はどうか。
- (2) 今後の財政運営における重点項目は何か。

3番 石田清廉 議員

- 1 限られた財源の中で常にコスト意識を持ち、民間活力を生かした効率的、効果的な自治体経営に努め、今後の行財政改革の促進を「経営改革を促進」といった意識の転換を図り、持続可能な健全財政の基盤構築を目指すこと

は喫緊の課題と言える。どのように考察されるか。

- (1) 今後も厳しい財政運営が推測される。市行政を取り組む上で、「自治体を運営」するから「自治体を経営」といった意識の転換が必要と思われる。新たな総合計画の基本構想に反映できないか。
 - (2) 住民参加、官民協働体制による「共同事業提案制度」など、民間活力の活用を更に促進してはどうか。
 - (3) 市公共施設等総合管理計画の策定後、ファシリテーターマネジメント的手法を取り入れた施設管理の一元管理化への取組など、庁内協議はされているのか。
- 2 特例債活用による大型事業の償還をはじめ、公共施設等の整備事業などの更新費用やインフラ整備の多額な費用など、今後一層の財源確保に努める必要がある。市行政に伴う資金の調達、運用を検討する必要性についてどのように捉えているのか。
- (1) 資金調達や資金運用に関わる財務活動の原則及び管理方針を定めて、資金の安全性及び効率性の実現を図ることを目的とした市財務活動管理方針についての取組はあるのか。
 - (2) 資金管理活動の両面である「調達」と「運用」を一体と捉え、安全性に係る信用リスク、流動性リスク、金利変動リスクなど適切な管理を通じて、効率性の向上を図る仕組みを立ち上げ、資金管理(調達・運用)における支払い利息、運用金利などの収益を貴重な財源確保の一つとして捉えてはどうか。

4番 岡山 明 議員

- 1 放課後児童クラブ、児童館の運営状況について
 - (1) 放課後児童クラブ、児童館のあり方についての考えはどうか。
 - (2) 放課後児童クラブ、児童館の運営状況、環境整備はどうか。
 - (3) 放課後児童クラブの地域間格差はどうか。
 - (4) 市として、今後の学童保育をどのように考えているのか。
- 2 宅地における固定資産税について
 - (1) 宅地における固定資産税の対象件数は、どの程度あるのか。
 - (2) 住宅や住宅を兼ねた店舗が建つ土地の固定資産税は、減税の対象となっているが、空き家対策等で対象外となっている物件はどうか。
 - (3) 相続登記されず、所有者が不明のまま放置されている土地、建物はどの程度あるのか。
 - (4) 市外納税者数及び未回収件数はどの程度か。
 - (5) 納税者として、対象物件を、市への譲渡、物納の可能性はどうか。

- 3 小中学校、市内の屋内スポーツ施設の熱中症に対する取組について
- (1) 小中学校での熱中症対策はどうか。
 - (2) 小中学校、また、市内の屋内スポーツ施設の夏場の環境測定の実施状況はどうか。
 - (3) 環境測定に対する対策はどうか。
 - (4) 空調設備の可能性はどうか。
 - (5) 今後の熱中症対策について、災害として位置付けるものとして、市の方向性を確認したい。

5番 下瀬俊夫 議員

- 1 市長の政治姿勢について問う。
 - (1) なぜ具体的な選挙公約を出さず、有権者に白紙委任を求めたのか。
 - (2) 市の補助金交付のあり方について問う。
 - (3) 市職員倫理規程について問う。
- 2 自然環境保護について問う。

大型開発から地域住民の生活環境を守る施策について問う。

6番 長谷川知司 議員

- 1 学校教育とボランティアについて

学校における児童、生徒のボランティア活動の状況とボランティア活動への教育委員会の姿勢を聞く。
- 2 入札制度について
 - (1) 市内業者優先の基準を聞く。
 - (2) 市外業者も併せて指名する場合の基準を聞く。
- 3 埴生地区等の再整備計画と跡地利用について
 - (1) 埴生小学校、埴生公民館・支所、厚狭公民館の跡地計画を聞く。
 - (2) 「青年の家」の利活用方針を聞く。
- 4 交流及び定住人口拡大の施策について
 - (1) 市外、県外からの交流及び定住人口拡大に必要な事を聞く。
 - (2) 公共交通機関の利便性と今後の方針を聞く。
 - (3) 大学とスポーツの各々を利活用した交流及び定住人口増加への施策を聞く。

7番 吉永美子 議員

- 1 市長の施政方針に基づき「現代ガラス展」の推進の考えについて
施政方針に「本市の財産であり、地方創生を深化させる強力な推進力」

とある現代ガラス展を推進するための施策について聞く。

2 環境問題について

(1) 平成28年6月議会での答弁を踏まえ、食品ロス削減について取組状況を聞く。

(2) 平成28年6月議会での答弁を踏まえ、ミストシャワー設置について検討状況を聞く。

3 市民の健康づくりについて

昨年12月議会で取り上げた「健康マイレージ」の導入について検討状況を聞く。

4 高齢者を守る施策について

(1) 事故防止について

ア 高齢者による運転事故が社会問題となっているが、事故防止の施策を聞く。

イ 運転免許証自主返納支援の拡充について考えを聞く。

(2) 防犯について

ア 高齢者を狙った詐欺が横行しているが、詐欺被害について未遂を含め状況を把握しているか。

イ 詐欺被害を未然に防ぐための取組を聞く。

(3) 介護予防のための遊具の設置について

ア 公園に介護予防の遊具を設置することについて、必要性をどう捉えているのか。

イ 年次的な計画を立てるべきではないか。

8番 杉本保喜議員

1 山陽小野田市の防災体制の改善状況について

(1) 昨年12月議会一般質問で質問した2件の進展を問う。

ア 「避難所運営において、関係者（教育委員会等）との協議を早期に実施する。訓練は、行政側から働きかけてその機会を設ける」と回答されたがどうか。

イ 「災害時のボランティアセンターが支障なく設立できるよう、社会福祉協議会と定期的に連絡・調整を行う。また、社会福祉協議会との間で経費負担を明記した開設、運営に関する協定を締結し、相互の連携・協力が関係を揺るぎないものにしたい」と回答されたがどうか。

(2) 本年3月議会でNHKの「d」ボタンで見る「河川水位」に有帆川を表示できるよう取り組むことを回答されたがどうか。

2 江汐公園の有機的活用について

- (1) 指定管理者制度における「トリプルウイン」は、当園に活かされているか。
 - (2) 市民から江汐公園に「ドッグラン」を設置して愛犬家との交流、モラルの向上、そして近傍からの来園指向を図ろうという活動がある。薬草園の設置を含め、市民を含めた協議会が必要ではないか。
- 3 「活力と笑顔あふれるまち」づくりの有機的活動の一つである観光について
- (1) 観光ボランティア育成の具体的な戦略プランはできているか。
 - (2) 「おもてなしサポーター」とビジターC Tの「おもてなし」研修とのネライとプランを問う。
 - (3) 市内各所を巡る地域公共交通網の快適な循環は、観光にとっても、また市民にとっても重要である。先進地を参考に適切なコンサルタントを得て、速やかに改善を図るべきではないか。

9番 山田伸幸 議員

- 1 藤田市長の社会保障に対する認識を問う。
 - (1) 藤田市長は白井市政の下で進められてきた社会保障施策についてをどう評価し、何を変えようとしているのか。
 - (2) 国民健康保険の役割と行政のあり方に変更はないのか。
- 2 子どもの貧困に対する藤田市長の認識と対策を問う。
 - (1) 子どもの貧困に対する実態について
 - (2) 子育て支援と就学援助について
- 3 公共交通政策について
 - (1) 藤田市長の公共交通に対する認識について
 - (2) デマンド交通に対する市民の要望に応じていくのか。

10番 中村博行 議員

- 1 埴生地区公共施設について
 - (1) 埴生小学校跡地利用計画と周辺の維持管理計画について問う。
 - (2) 「青年の家」について、指定管理など今後の活用計画を問う。
- 2 厚陽保育園の駐車場について
現状、市道を駐車場にしており、危険性についても問われている。抜本的な対策が必要と思うが、考えを問う。
- 3 更生保護について
 - (1) 山陽更生保護女性会の活動について行政としての評価及び支援についての考えを問う。

- (2) 保護観察所に協力企業主として登録している事業者に対し、随意契約等で優遇措置は考えられないか。
 - (3) 保護観察処分が解除された若者の就労支援について、他市で実施できて本市でできない理由を問う。
- 4 レノファ山口の支援について
- (1) レノファを活用したまちづくりの新たな具体策について問う。
 - (2) 今後のレノファ支援について問う。